

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 10 日作成)

小委員会名	都市計画・デザイン教育小委員会	主 査 名：小林正美 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画本委員会	委員長名：出口 敦
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2009 年度：都市計画教育とアーバンデザイン教育の連携に関するデータ収集（国内・海外）。連携カリキュラム、実践的カリキュラム、 2010 年度：都市計画・デザインの資格制度に関する海外の状況・事例の収集。 2011 年度：研究協議会実施。都市計画・デザインの資格制度に関する国内の様々な立場の関係者からのヒアリング・公開討論など。 2012 年度：活動成果の出版企画	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	小林正美（明治大学）、野澤康（工学院大学）、鶴心治（山口大学）、根上彰生（日本大学）、野嶋慎二（福井大学）、出口敦（九州大学）、北原啓司（弘前大学）、瀬戸口剛（北海道大学）、高橋潤（明治大学）、岡絵理子（関西大学）、高鍋剛（都市環境研究所）、遠藤新（工学院大学）、有田智一（筑波大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	シャレットワークショップWG： 都市の計画理論と空間デザイン論を並行して展開し、実際の地域の課題に応用して考察し、解決策を提案する教育方法は当該の学生教育に加え、地域の担い手の育成にとっても有効である。これまでの教育カリキュラム体系の検討成果をもとに、シャレットワークショップを毎年全国各地で開催することにより、都市計画・デザインの教育方法に関する新しい知見を蓄積し、具体的な教育方法について研究を行う。	
2012 年度予算	270,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/toshi/s3

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(うち拡大幹事会 1 回)
刊行物（シンポジウム資料等は除く）	
講習会	
催し物（シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. アーバンデザイン教育の普及・啓発に関して、具体的方策の検討を継続した。
委員会活動の問題点・課題	1. 地域に分かれた委員構成であるため、予算上、委員会の頻繁な開催が難しい。 2. 未だにシャレットワークショップへの教員参加は各々個人の研究費負担に依存している状況である。学会全体としての予算化の検討が期待される。 3. 都市計画・デザイン教育と一級建築士資格等との関係を議論すべきとの意見があるが、現状では時間的・人的な余裕がない状況にある。

